

日本手話ネイティブと学ぶ手話言語学

日本手話はろう者が母語とする言語です。手話言語学の考え方を使って、その独自の文法について考えてみませんか。『日本手話で学ぶ手話言語学の基礎』（くろしお出版、2015）付属DVDに出演した6人のろう者が、それぞれの章の大事どころ、面白いところを日本手話で解説します。言語学が初めての人も、言語研究を専門にする人も、日本手話でことばの奥深さを一緒に体験しましょう！（日本手話－日本語通訳あり）

■日時：2017年3月5日（日） 13:00～16:00（12:30開場）

■会場：大阪教育大学天王寺キャンパス 西館ホール

■主催：主催：東京手話言語学研究会（TOSLL）、共催：くろしお出版



■参加費：2,500円

■お申込み：<http://www.9640.jp/gakkai/492/>（くろしお出版ウェブサイト内「学会・研究会情報」）から。

■お問い合わせ先：TEL：03-5684-3389 メール：kurosio@9640.jp

〒113-0033 文京区本郷 3-21-10-6F くろしお出版（<http://www.9640.jp>）

■登壇者：

▼司会・コーディネーター：松岡 和美

慶應義塾大学経済学部教授。『日本手話で学ぶ手話言語学の基礎』著者。Ph.D.（言語学、コネチカット大学）。専門は統語論、言語獲得。

▼講演者（五十音順）

知久 博和

手話研究に強い関心を持ち、研究会等に参加。ネイティブインフォーマントとして手話言語学に出会う。「手話の形態（第2章）」を担当。

馬場 博史

関西学院大学非常勤講師。手話指導に取り組みながら、映像作家として手話を扱った作品を制作。「手話の音韻（第1章）」と「手話研究を行うために（第7章）」を担当。

林 雅臣

明晴学園常勤講師。ろう児が言語を身につけるプロセスに強い関心を持つ。「ろう児の手話の発達（第6章）」を担当。

前川 和美

関西学院大学非常勤講師。手話指導のための教材・カリキュラム開発に長く携わる。手話研究の共同プロジェクトにも参加。「手話の統語（第3章）」「おわりに」を担当。

森田 明

明晴学園教諭。中学部「手話科」で手話言語の仕組みや豊かな表現を指導。ストーリーテラーとしても活躍。「CL・RS・手話の創造性（第5章）」を担当。

矢野 羽衣子

様々な手話研究プロジェクトに参加、現在は愛媛県大島ビレッジサインの研究プロジェクトを主導。「はじめに」と「意味に関わる手話言語の性質（第4章）」を担当。

